

霧島山（えびの高原いおうやま（硫黄山）周辺）の火山活動解説資料

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

<噴火予報（活火山であることに留意）が継続>

昨日（14日）えびの高原の硫黄山で、噴気が発生しているとの通報がありました。

昨日の現地調査及び本日（15日）気象庁機動調査班（JMA-MOT）が実施した現地調査では、硫黄山の火口内の南西側で弱い噴気と硫化水素臭を確認しました。赤外熱映像装置¹⁾による観測では、噴気を確認した付近で熱異常域を確認しました。

火山性地震や火山性微動の発生状況には特段の変化は認められません。

えびの高原（硫黄山）周辺では、7月頃から振幅の小さな火山性微動が発生するなど、火山活動がやや高まってきていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図1～5）

昨日、えびの高原の硫黄山で噴気が発生しているとの通報がありました。

昨日、鹿児島地方气象台と鹿児島大学が実施した現地調査及び本日、気象庁機動調査班（JMA-MOT）が実施した現地調査では、硫黄山の火口内の南西側で弱い噴気が発生していることを確認しました。噴気は30cm程度上がっていました。硫黄山における現地調査では、2003年以降、噴気は確認されていませんでした。

赤外熱映像装置による観測では、噴気を確認した付近で熱異常域が認められました。噴気を確認した付近の最高温度は約80度（14日）でした。この熱異常域は前回の調査時（11月2日）には確認されていませんでした。

また、硫黄山付近では前回の調査（11月5日）に引き続き明らかに感じる程度の硫化水素臭を確認しました。

・地震や微動の発生状況（図6）

火山性地震は少ない状態で経過しています。

火山性微動は10月31日に観測されて以降、観測されていません。

1) 赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、宮崎県及び鹿児島県のデータも利用して作成しています。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』『基盤地図情報』『基盤地図情報（数値標高モデル）』を使用しています（承認番号：平26情使、第578号）。

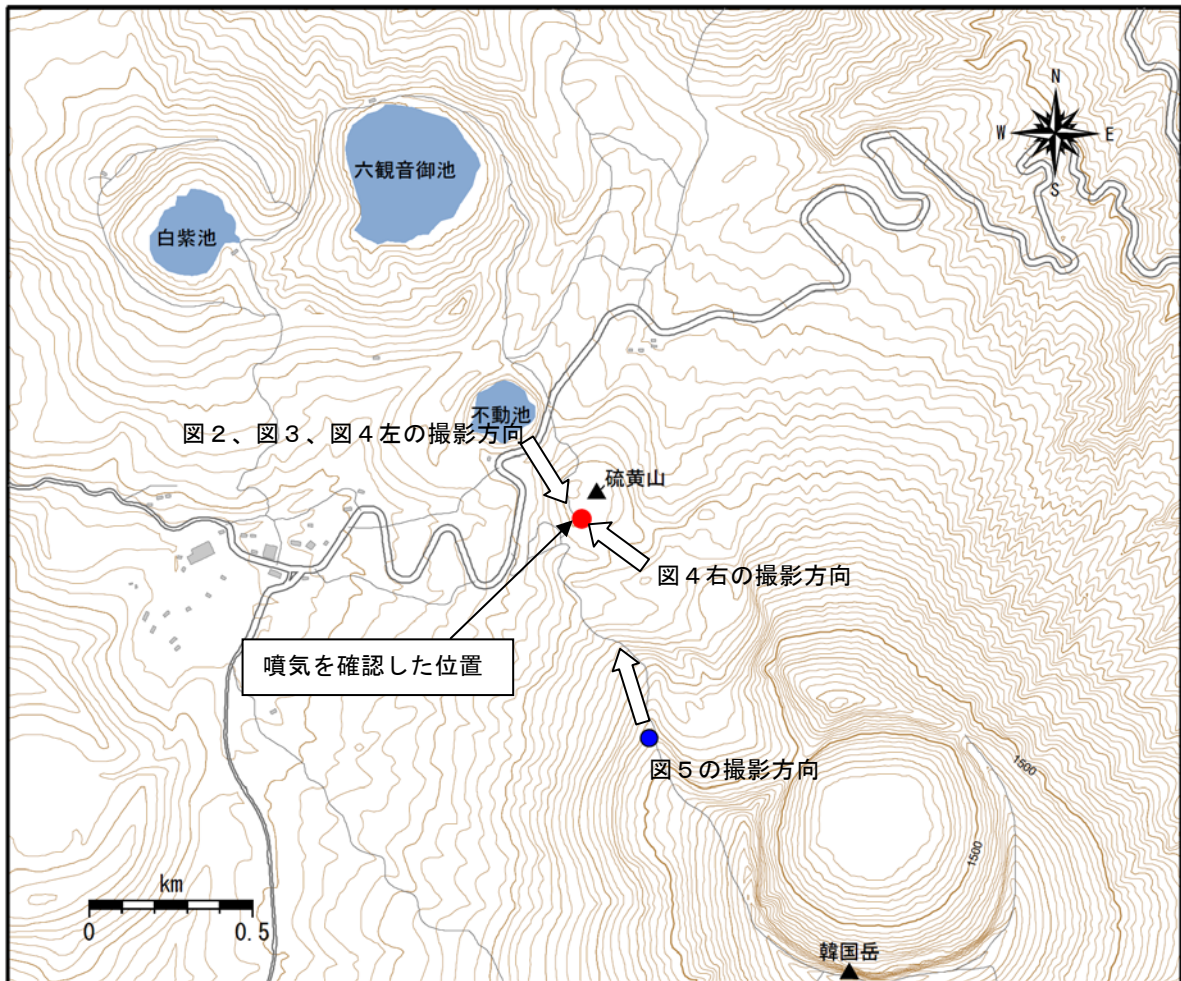


図1 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） 噴気を確認した位置と撮影位置



図2 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） 硫黄山で噴気を確認した領域の状況
(2015年12月15日撮影)

- ・硫黄山の火口内の南西側で噴気を確認しました。
- ・噴気は30cm程度上がっていました。
- ・噴気の様子は写真では不明瞭です。

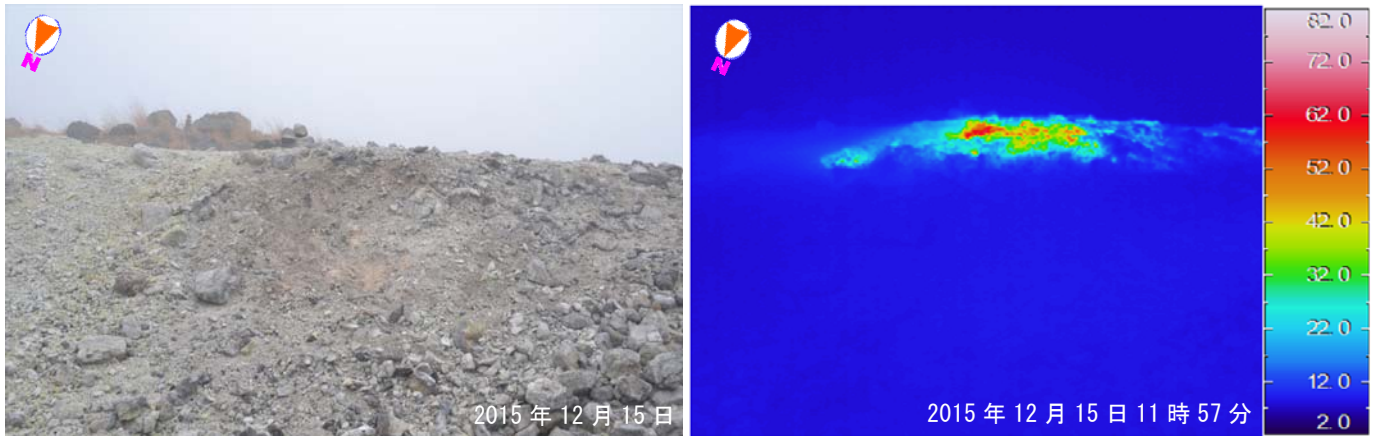


図3 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） 硫黄山で噴気を確認した領域の地表面温度分布（2015年12月15日撮影）

- ・硫黄山の火口内の南西側で熱異常域を確認しました。
- ・熱異常域の最高温度は約60度でした。

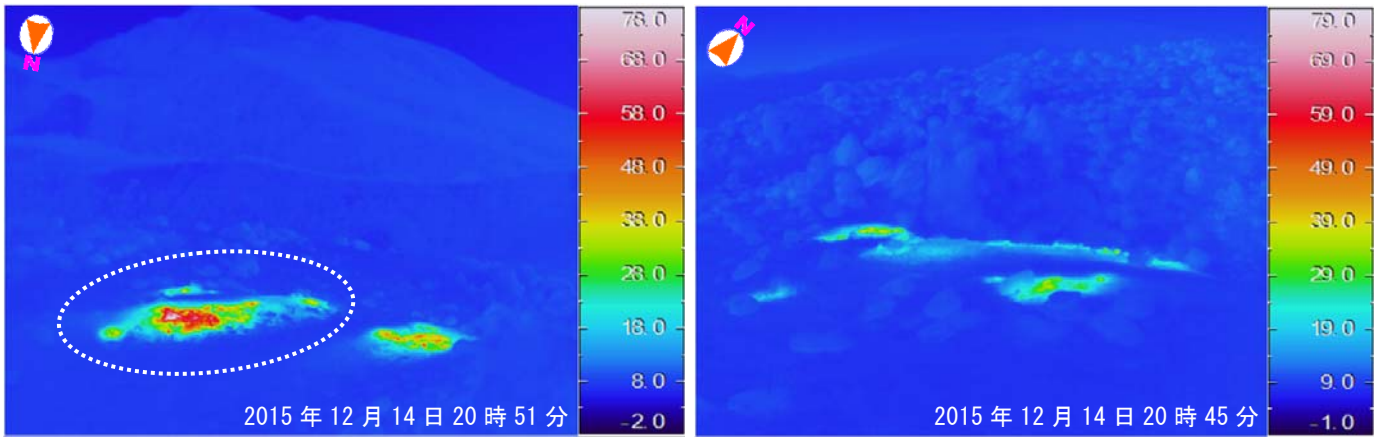


図4 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） 硫黄山で噴気を確認した領域の地表面温度分布（2015年12月14日撮影）

- ・白色破線は図3右と同じ熱異常域を示しています。
- ・硫黄山の火口内の南西側で熱異常域を確認しました。
- ・熱異常域の最高温度は約80度でした。

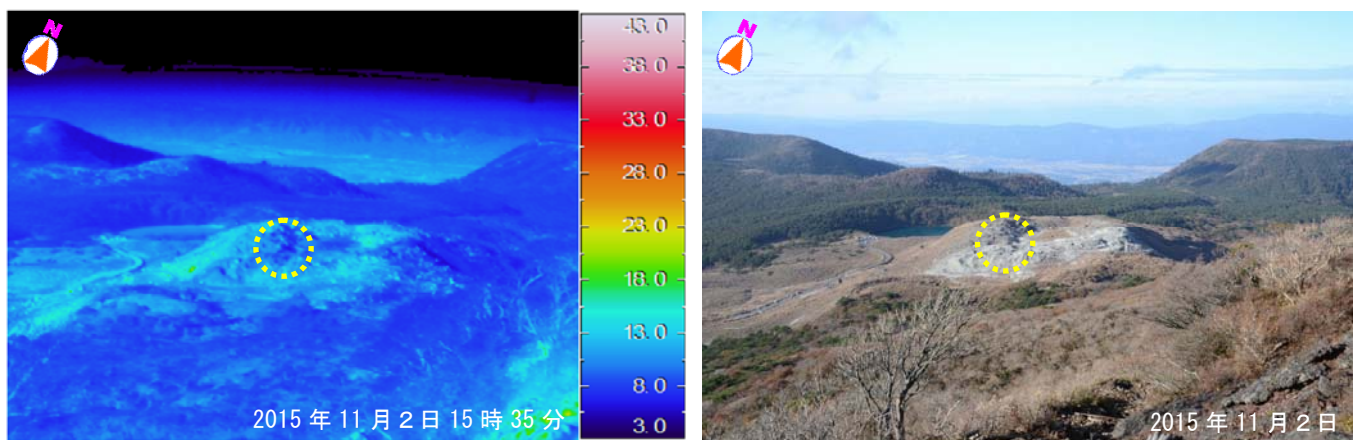


図5 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） 11月2日の現地調査で撮影した硫黄山付近の状況（2015年11月2日撮影）

- ・黄色破線内が今回確認した硫黄山の火口内の南西側の噴気付近を示します。
- ・11月2日の現地調査では今回の調査で噴気を確認した領域で熱異常域は認められませんでした。

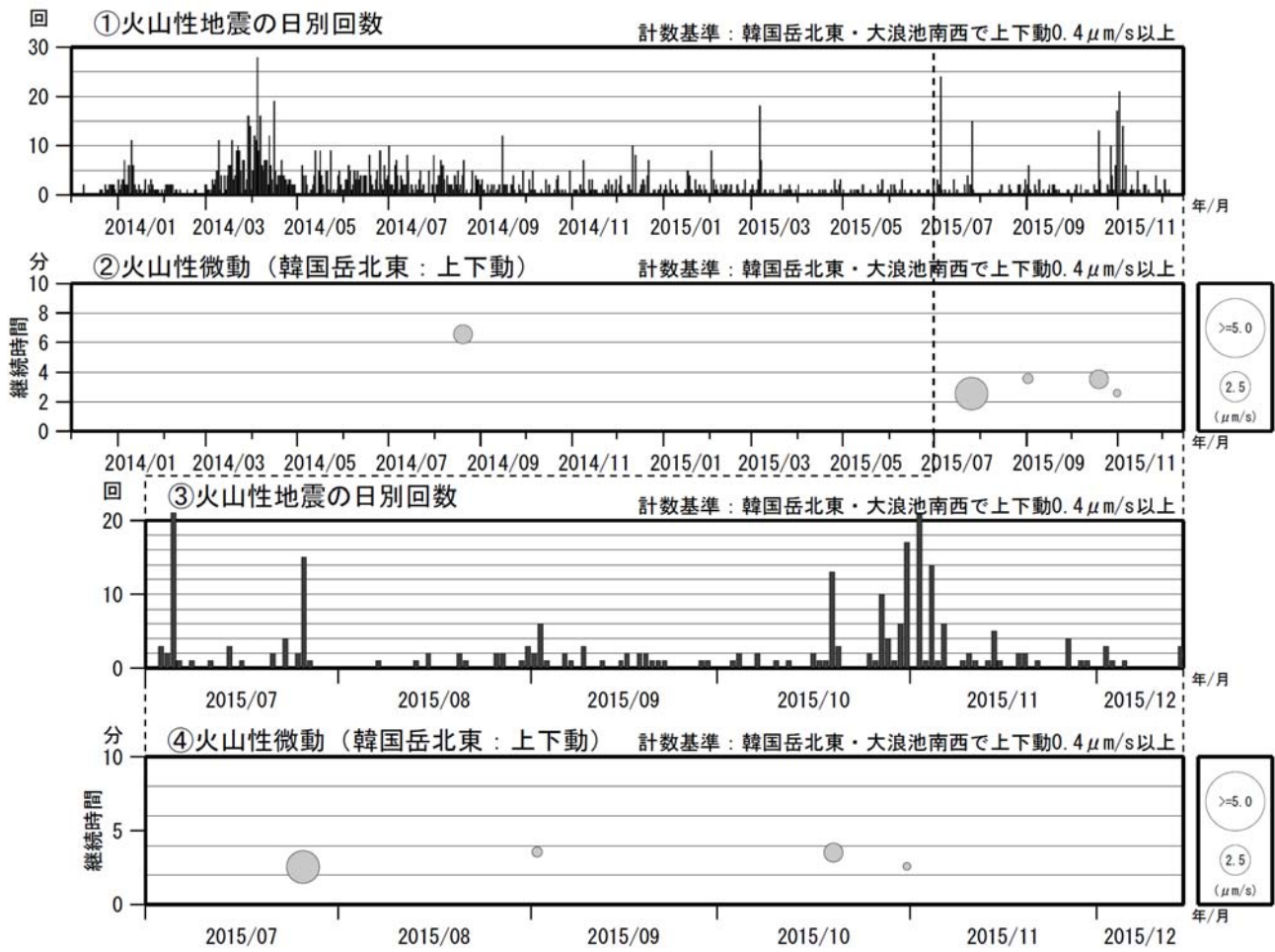


図6 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） 火山性地震と微動の発生状況
(2013年12月1日～2015年12月14日)

- ・火山性地震は少ない状態で経過しています。
- ・火山性微動は10月31日に観測されて以降、観測されていません。

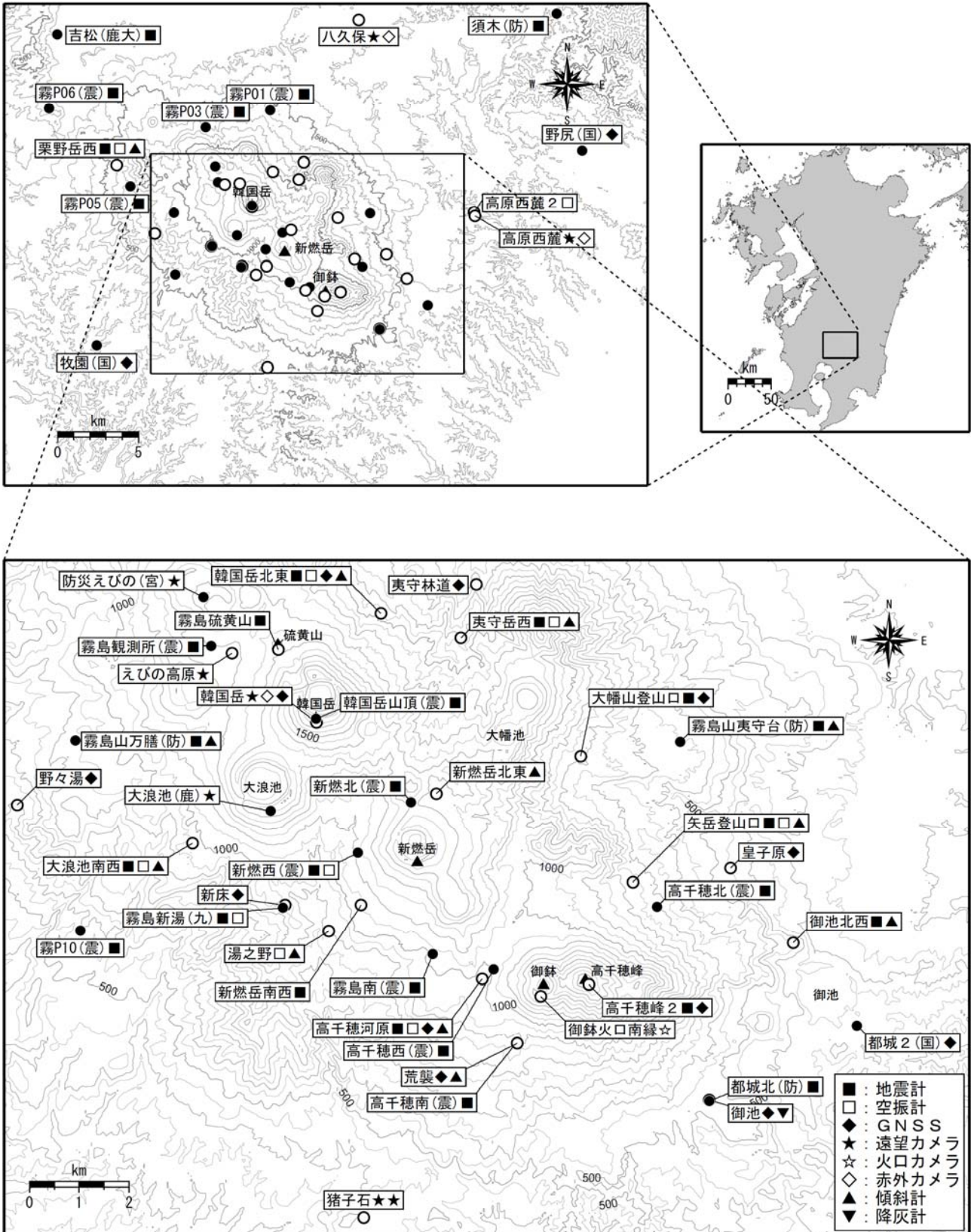


図7 霧島山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国) : 国土地理院、(防) : 防災科学技術研究所、(震) : 東京大学地震研究所
 (九) : 九州大学、(鹿大) : 鹿児島大学、(宮) : 宮崎県、(鹿) : 鹿児島県